

平成25年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	自主防災組織結成・活動促進事業		担当部署	企画総務部 危機管理局 危機管理課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	市地域防災計画 市地震津波対策推進計画	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value="16"/> 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと			
(小項目)	危機管理・防災			終期	<input type="text" value="未定"/>
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進			
基本事業	2	危機管理・防災体制の強化			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 各地区自主防災会						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	結成率が100%になったことをうけ、今以上の組織活動活性化や組織活動の停滞、マンネリ化を防ぐために、自主防災会連絡協議会等を活用し、防災意識の高揚や訓練等活動のレベルアップを図っていく。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		自主防災会結成率	85.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	24年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行ったのか	未結成地区に対しては、地区代表者、消防団等を通じ組織結成を呼びかけた結果、9月28日に最後の未結成であった地区に自主防災会が結成され、組織結成率が100%(今年度16自主防災組織結成)となった。結成して間もない自主防災会に対しては出前講座等で活動の活性化を呼びかけ、既存の団体に対しては、引き続き活動・運営を支援するため助成金の交付や自主防災会が独自に行う高台等への避難路・避難場所の整備や、防災資機材購入のための助成交付を行った。また各自主防災会の主催する訓練に参加し、防災意識の高揚に努めた。						
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		23年度実績	24年度実績	25年度目標	26年度目標	27年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	自主防災会連絡協議会の開催	5	5	5	5	5	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	自主防災会結成率		85.9	100.0	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0	—	—	—	%

コスト分析		23年度実績	24年度実績	25年度	26年度	27年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	4,132	2,433	4,312	3,312	3,312	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		0
		県	0	0	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	2,000	0	0	0		0
一般財源	2,132	2,433	4,312	3,312	3,312			
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		3,361	3,361	3,361	3,361	3,361	人	
人件費内訳	正規職員(6,721千円/人)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		
	臨時職員等(2,023千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		7,493	5,794	7,673	6,673	6,673	千円	

【事務事業名：自主防災組織結成・活動促進事業】

◎平成25年の実施状況(DO)

現在の実施状況	結成率が100%になったことをうけ、組織活動の活性化と停滞やマンネリを防ぐために、自主防災組織活動活性化助成制度を創設し、各自主防災会の防災意識の啓発に努める。また自主防災会の活動に対して、積極的に参加し防災意識の高揚に努める。
---------	--

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	地域防災の担い手である自主防災会を通じて市民の方々に防災意識の普及啓発をおこなう。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 災害に負けないまちづくりの推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	自主防災会のさらなる活動の推進に向け、組織の財政的不安や組織の高齢化が顕著に表れていることから、若年層の自主防災会活動への加入促進、関わりの強化についても検討していく必要がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 事業対象は適切である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。	
<input type="checkbox"/>		⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/>			
3.効率性の評価			理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	財政的基盤の弱い自主防災会が多く、継続した防災活動のためにも現在の助成制度が必要である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/>			

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				